

問合先 総務課 行政係 ☎552-1511

中学生広島派遣事業

HIROSHIMA

8月5日(金)~7日(日)

糸魚川市平和都市宣言に基づき、戦争、原爆の恐ろしさや平和で豊かな暮らしの尊さを学ぶため、市内4校の中学2年生を被爆地広島へ派遣しました。

参加した代表11人は、平和記念公園、資料館の見学、被爆者による体験講話の受講や平和記念式典への参列を通し、現地でしか感じることができない戦争の悲惨さを学び、8月22日に報告会を行いました。報告を聴いた米田市長は「今回、参加できなかった生徒たちに、皆さんの貴重な体験を伝えていただき、平和の大切さを共有してもらいたい」と生徒に話しました。

参加した生徒のみなさん

池田	希愛	能生中学校
齋藤	碧波	能生中学校
猪俣	陽弘	糸魚川東中学校
澁谷	花奈	糸魚川東中学校
長内	夏依	糸魚川中学校
山崎	茉音	糸魚川中学校
山本	凛太郎	糸魚川中学校
横澤	美結	糸魚川中学校
渡邊	凛人	糸魚川中学校
小泉	結生	青海中学校
高津	芽依	青海中学校



平和記念式典に参列して

能生中学校

池田 希愛

私は8月6日に平和記念式典に参列しました。99か国の代表や岸田首相など、総勢2,854名での開催となり、平和を願う気持ちの大きさを感じることができました。また、平和への誓いを通して、お互いを認め合い、理解する気持ちや思いやりを持ち、本当の強さにたどり着くことの大切さを実感しました。

来年は広島でG7サミットが開催されます。広島での開催の意義を心に留め、核兵器廃絶に向けて世界中で歩み、一日でも早く平和を獲得するために、私たち一人一人ができることは何かを考えていかなくてはならないと思います。

今後さらに学びを深め、自分や周りの行動につなげていく決意を固めました。



平和や豊かな暮らしの大切さについて

糸魚川東中学校

猪俣 陽弘

私が思う平和で豊かな暮らしとは、戦争を起こさないこと、みんなが笑顔で安心して過ごせることです。

私は戦争の恐ろしさをたくさん学びました。昔、日本は戦争を体験し、多くの人々が命を落としました。これは平和で豊かな暮らしとは言えません。平和で豊かな暮らしを実現するためには、「戦争ってどういうものなのか」「なぜ始まったのか」ということを知らなければいけません。私は、多くの人たちに戦争の歴史について知ってもらい、平和や豊かな暮らしについて考えてほしいと感じました。私はこの広島派遣で学んだことを生活に生かすと共に、次世代にも語り継いでいきたいと思っています。

